



【北部方面総監初度視察】

令和3年6月22日

令和3年6月22日（火）自衛隊札幌病院（病院長：鈴木陸将）は、北部方面総監（沖邑陸将）初度視察を受察した。病院長は方面総監に対する状況報告において、病院の任務・編成・特性等の概要、診療・健康診断支援業務、教育・訓練、新型コロナウイルス感染症対応等に関して報告し、病院の現状を把握していただいた。また、院内の施設巡視においては、一般病室、特別室、スタッフステーション等の病棟に関する事項、救急処置室における急患対応要領、災害発生時の大量傷者受入要領などの診療に関する事項のほか、大規模震災等で機能する非常用電源設備と地下免震構造等の機能について説明し、災害に強い病院であることを理解していただいた。また、准看護学院では准看護学生の授業と学生隊舎を視察し、教育環境等を確認していただいた。

方面総監から「本日ここに集う自衛隊札幌病院職員諸官の雄姿を目の当たりにして大変心強く、また頼もしく感じる。新型コロナウイルス感染症への対応を含め、地域医療を担う自衛隊札幌病院の諸官は、地域住民と接する機会が比較的多く、諸官の一挙手一投足が自衛隊と地域等との連携強化に直結することから、自衛隊の作戦環境の醸成を自分が担うという気概をもって、職務遂行してもらいたい。自衛隊札幌病院長鈴木陸将を核心として、「真に戦える実効性のある部隊の創造」、「地域等との連携」及び「人間力の強化」を通じて、本職とともに「即動必遂」できる北部方面隊を作りあげていくため、コロナ禍にあっても、引き続き、専心職務にまい進することを期待する。」と訓示を受け、病院職員一同、病院に期待されている役割及び重要性を再認識し、気持を新たに職務にまい進することを誓った。



病院長（鈴木陸将）による状況報告



病棟について説明する看護部長



病院地下免震設備の説明をする管理課長



准看護学生の授業説明をする教務班長